



2003年長崎ゆめ総体・ハンドボールの開会式では、久田学園佐世保女子高校の勇壮な獅子舞が披露されます

広報
No.632

させぼ



広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集 2003年長崎ゆめ総体
まもなく開幕です ……2~5p

今月の主な内容

- 住基ネット、市民意識調査結果など ……6~ 9p
- 市民の広場 ……10~11p
- イベント、施設だより ……12~13p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド ……22~23p
- 九じろうの取材日記 ……24p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



広報 させぼ

7月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184
〒857-8585 (市役所専用) 長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/中央印刷有限公司

九じろうの取材日記

外国語指導助手(ALT)
リサ・グラハムさん



リサさんは市内の中学校で英語を教えています

相浦中学校での授業風景

6月3日、相浦中学校1年2組の教室のドアを開けると、既に4校時目の英語の授業が始まっています。ALTのリサさんが、地図と国旗を黒板に張って、自己紹介をしています。

リサさんが相浦中学校で教えるのは、この日が初めてでした。「私は北アイルランドのキルキールで生まれました。キルキールは佐世保と同じように山と海に囲まれた小さな港町です。」

リサさんには、2人のお兄さんと2人の妹がいます。ゆっくりとした英語で、生徒たちにリサさんと兄や妹たちとの年齢の差を教え、4人の年齢を当てさせました。質問の形を変えて繰り返し尋ねるうちに、生徒たちも何とか年齢を答えることができました。

次に「私のボーイフレンドです」と言っていて、サッカーのベッカム選手の大きな写真を見せると、教室はたちまち大爆笑に包まれました。次は、イギリス国旗の説明です。国旗は、イングランドやスコットランド、北アイルランドなどの旗が組み合わされてきたそうです。



やや複雑な内容なので、ここでは担当の英語の先生に通訳を頼みました。今度は生徒の自己紹介の練習に移りました。自己紹介のときに使う英文を習った後、リサさんを相手に繰り返し練習です。最後はジャンケンゲームで終わりました。

生徒の一人に授業の感想を聞く時、「分からないところもあったけど、とても面白かった。ゲームなどをしてるうちに、時間が経つのがとても早く感じました」との答えでした。

授業の後、日本での生活や英語教育について聞きました

リサさんがALTとして来日したのは、去年の8月のことです。イギリスの大学で観光経営学を学んだ後、旅行会社などで働いていましたが、日本に興味を持ち始め、ALTに応募しました。「日本は安全で、日本人はとても親切です。日本の文化にも引かれます。」

英語教育について聞くと、「英

語には、読む、書く、話す、聞くの4つの要素がありますが、イギリスでは話すこととコミュニケーションを重視します。最初は分からなくても、自然に話しながら、その中で文法や発音の指導をする方がより分かりやすいです」との考えでした。

毎週火曜日には、小学校にも教えに行っていますが、小学生は自由で遊び感覚で学ぶため、発音などすぐ覚えるとのことでした。

小・中学校の英語教育も、日本人の英語の先生とALTの協力による「生きた英語教育」が次第に根付いてきているようです。

市教育委員会のALTは現在5人。定期的に市内の中学校を回っていますが、ことし8月には1人増員され、よりきめ細かな教育ができそうです。

編集長から「一言」

長崎ゆめ総体に向けて、縁の下力持ちとなって大会の準備に奔走する高校生の姿取材しました。各競技に臨む選手や応援者の人たちに、「佐世保での開催を喜んでいただけるように」と心掛ける高校生の笑顔にも、温かい応援の拍手を送りたいですね。(A)

※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。